

「千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」
「千曲市人口ビジョン（案）」に対する意見募集結果

○提案者数 2名
○提案件数 12件

—貴重なご意見ありがとうございました—

○提出された意見の内容(要旨)及びそれに対する市の考え方は次のとおりです。

No.	意見の内容(要旨)	意見に対する市の考え方
1	<p>総合戦略の体系を説明した冒頭のフレーズについて、将来展望人口「平成 52 年に人口 5 万人」達成は、現状人口の 6 万人から 1 万人も減ってしまう目標値では千曲市の創生計画として説得力がなく、総合戦略そのものの内容を問われるため、現状維持の 6 万人でもおかしくないが、推計人口から 1 万人増やして 55,000 人ぐらいが妥当だ。</p> <p>将来展望人口は、あくまでも創生計画の効果をものくらい見込むかにかかっている。</p>	<p>人口ビジョンで定めた「平成 52 年(2040 年)の目標人口 5 万人」は、今から 25 年後までの人口推計を行い、国・県の方針を勘案し、実現可能な出生率の上昇に加え、どれくらいの「社会増」が必要かを算出したもので、人口の政策的誘導を達成することによって、社人研の推計値 44,978 人より約 5,000 人上回る目標値としたものです。</p> <p>人口ビジョンにおける施策の効果は「トータルで見られるもの」であり、個々の施策に社会増減を割り振るのは現実的ではありませんし、どの施策によって、どれくらいの社会増を見込むかは検証困難です。新駅設置も含めて様々な施策の“効果の結晶”として、社会増は現れると考えています。</p>
2	<p>総合計画と総合戦略について、まだ現在の総合計画は進行中であり、今回の創生戦略は将来を見越した先行の企画である。わざわざ解説をつけないと誤解を受けそうな体系図を作る必要はない。</p> <p>また、総合計画のサブタイトルも総合戦略との整合がとれないので、削除した方が無難だ。</p>	<p>市の最上位計画である総合計画と、このたびの総合戦略の関係を体系図で示したのは、策定・推進に当たって車の両輪である市議会(一般質問や委員会審査等)での指摘・意見をふまえ、「総合計画」と「総合戦略」の位置関係を体系図で示す必要が生じたものです。</p> <p>「千曲の魅力と多彩な力が未来を拓く躍動の都市」は、議会議決を経た総合計画の基本構想で定めた千曲市の将来像です。</p>
3	<p>総合戦略のサブタイトルについて、「人・物・情報」といった一般的な言葉ではなく、「仕事人が人を呼び、人が仕事を呼び込み、まちが賑わう広域交流拠点都市の創造」と書くべきだ。</p> <p>また、新しい戦略として二段目に「市民の活力と行政が協働でつくる躍動のまちづくり」と入れるべきだ。</p>	<p>お示ししているキャッチフレーズは、人口ビジョンで定めた今から 25 年後の 2040 年を射程に収めた最初の 5 か年間の目指す姿としてキャッチフレーズを一般的な言葉で「人・物・情報が行き交う」としたものです。</p> <p>また、ご意見の「協働によるまちづくり」の二段目のフレーズは、市の最上位計画である総合計画の「まちづくりの基本理念」に既に位置づけられており、これまでも、そしてこれからも、まちづくりを進める上で根幹に据えております。</p>
4	<p>6 ページの体系図において、「基本的考え方」と「基本目標」の関係、目標と戦略との関係で、人口減少の実態と戦略の新幹線が並列に並べてあるが、人口減と地域活力の縮小に歯止めをかけることは「目的」であり、新駅誘致は手段である。このため、目的と目標の違い、目的と手段を明確にするために、分かりやすく「目的および基本的な考え方」としたらどうか。</p>	<p>お示した体系図の「基本的な考え方」については、法律上の要請や国の総合戦略で定められた基本的な考え方を勘案して作成したもので、千曲市の総合戦略策定に当たっての「目的」と交通の要衝である「千曲市の特性(強み)」を基本的な考え方の柱として、本文 1 ページの書き方に合わせて大きく 2 つ明示したものです。</p> <p>ご意見をふまえ、前者を上段に、後者を下段に表記して、分かりやすいよう改めます。</p>

No.	意見の内容(要旨)	意見に対する市の考え方
5	基本目標 1 具体的施策 1-1 の「企業誘致」という言葉は死語になった。誘致ではなく、受け入れ態勢の取り組みを上げるべきだ。	「企業誘致」については、首都圏所在企業の本社機能の誘致促進を具体的取組として掲げているものです。また、「産業人材の誘致」として、政府の政策パッケージに掲げられているプロフェッショナル人材の誘致を想定しています。
6	基本目標 2 に「観光戦略」が抜けている。交通の要衝と観光開発はセットであり、観光行政を基本目標に入れるべきだ。	観光行政については「新しい人の流れをつくる」の具体的施策 2-1「千曲市の魅力を発信するシティプロモーションの推進」の具体的な取組の中で、「オール千曲の観光地域づくりの推進」として、観光地域づくりプラットフォーム(千曲市版DMO)の創設を掲げています。また、「安定した雇用を創出する」の具体的施策 1-2「地域産業の競争力強化による雇用の創出」でも具体的な取組を示しています。このように観光行政は広い範囲に含まれています。
7	新幹線新駅誘致は、基本目標 4 の「まちづくり」ではなく、「雇用の創出」である。基本目標 1 の 1 番に「新幹線新駅の誘致による広域交流拠点都市を目指す」とすべきだ。	新駅誘致については、このたびの総合戦略が平成 31 年度までの 5 か年計画であることから、基本目標 4「時代に合った地域をつくり地域連携を進める」の中で、まち再生の数値目標として「新幹線駅設置の実現として平成 34 年までの設置を目指す」を掲げたものです。 「まちづくり」の項に据えたのは、新幹線新駅等の高速交通網の整備とネットワーク化によって、千曲市の交流拠点機能と生活利便性の向上を図り、商業集積と人口増加の基盤とすることを施策の基本的方向としていることによります。
8	新たな戦略として、基本目標 4 の 1 の施策に「市民と行政の協働のまちづくり」を付け加えるべきだ。 また、新駅誘致のために市民に直接参加させて巻き込んでいく戦略が必要になるから、現在活動中の市民活動をそのまま創生の資源に格上げし、実際に本腰を入れて取り組めば、地域のコミュニティ活動として模範的なまちおこしになる可能性がある。	このたびの総合戦略は、新幹線新駅を誘致するためだけの計画ではなく、様々な施策を組み合わせる 2040 年まで取り組む最初の 5 か年計画です。 また、「協働によるまちづくり」の考え方は、市の最上位計画である総合計画の「まちづくりの基本理念」に既に位置づけられており、これまでも、そしてこれからも、まちづくりを進める上で根幹に据えております。

No.	意見の内容(要旨)	意見に対する市の考え方
9	<p>「基本目標 2」具体的施策 2-3 の(3)具体的な取組「若年層・子育て世代の IJ ターンと U ターン・定住の促進」①の 4 点目「市職員保有の遊休農地の貸し出しによる農園の提供」とある記述は削除すべきではないか。市内にある遊休農地には市職員が保有する農地以外にも沢山ある。</p> <p>むしろ遊休農地対策について、「具体的な取組」と「評価指標(KPI)」を提案すべきではないか。</p>	<p>市農業委員会では、本年度から遊休農地の解消を目的に、貸付・売渡希望の所有者に「農地貸出票」を送付し、所有者が自ら農地貸出票を農地に掲示する「立て看板」制度を始めています。また、農地所有者から申出のあった農地については、各地区の農業委員さんへ情報提供するとともに、市のホームページで公開し、希望があった場合は、農地の所有者(申出者)に連絡する取組みが行われています。</p> <p>移住希望者の中に農地・家庭菜園付き住宅を希望される方がいることから、千曲市への移住・定住を促進するための初の試みを、まずは市職員が保有する遊休農地から始めようという取組案ですが、ご意見をふまえ、「市職員保有の」を削り、「遊休農地の貸し出しによる農園の提供」に改めます。</p> <p>なお、遊休農地対策については、市の最上位計画である「総合計画」に評価指標(KPI)を掲げ、年次計画で取り組んでおります。</p>
10	<p>「基本目標 4」の数値目標「中心市街地居住者の生活利便性」について、目標値「H27 年度比 1 割増」の諸元が不明確である。</p>	<p>平成 27 年度の「市民満足度調査」において、約 8 割の方が「住みやすい」と回答いただいております。その割合をさらに 1 割増やすことを H31 年度の目標値としています。</p>
11	<p>「基本目標 4」具体的施策 4-1 の(3)具体的な取組「幹線道路・市道の整備・改良」に以下の追加を要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県道森篠ノ井線延伸整備の促進 2. 既に関係自治体に権原が移譲された長野電鉄屋代線敷地の有効活用 	<p>ご要望の 2 点については、市の最上位計画である「総合計画」において県道の整備促進を県へ要望するとともに、長野電鉄屋代線敷地の有効活用を図るために策定した「市地域公共交通総合連携計画」に基づき、年次計画で取り組んでまいります。</p>
12	<p>総合戦略のなかで千曲市の長年のブランドに上げられる「あんず」について、現状を踏まえた生産を含む諸課題の把握と、取り組むべき具体策や評価指標(KPI)が欠落しているのではないか。</p>	<p>このたびの総合戦略は、人口減少対策に特化した最初の 5 か年計画であり、雇用創出や少子化対策を中心としています。</p> <p>ご意見の「あんず振興」については、市の最上位計画に掲げて年次計画で取り組んでおり、総合戦略の「基本目標 1」にも位置づけてありますが、ご意見をふまえ、具体的施策 1-4 の(3)②具体的な取組内容の冒頭に「あんずをはじめとした」を加えます。</p>